

登録コード	SD417300	開講年度	2026				
授業題目	地質調査演習					担当教員	常盤 哲也 他
英文授業名	Field Geology Exercise					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	3年
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	
						備考	必修
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の各分野における専門知識					岩相区分や地質構造を把握できるようになる.	
	【2023年度以降カリキュラム対象】専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力					地質図や断面図を作成し、地質・地質構造を図示できるようになる.	
	【2023年度以降カリキュラム対象】理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力					効率的な調査の計画・立案ができるようになる.	
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災						
(3)全学横断特別教育プログラム	環境マインド実践人材養成コース						
(4)授業の概要	夏期休業中に1週間～10日間程度の野外での調査実習を行う。実習地域を班ごとに調査し、その成果を調査報告書としてまとめ、口頭発表を行う。実習地の地質については事前調査と学習会での発表を課す。それぞれの日程は別途指示するが、調査実習は9/1～10の予定である。						
(5)授業のキーワード	専門知識と応用力、フィールド学習、地域環境に関する理解、環境基礎力、問題発見・解決能力						
(6)授業計画	ガイダンス・事前学習会：7月、8月（日程は後日連絡する）。実習地の地質について、班毎に文献調査を行い、事前学習会において発表する。 実施場所：後日連絡する 実施期間と調査方法：別途連絡。調査地域を10程度の調査区画に区分する。1つの調査区画を1つの班が責任をもって調査する。 調査データは、毎日、整理図に記録する。 毎日、夜間のミーティング（まとめの会）を行う。この際、調査結果を報告する。調査結果は全員で議論し、隣り合う班との情報交換を行って、翌日の調査ルートや調査ポイントを決定する（翌日の調査ルートを立案・申告する）。 実習フィールドでの調査を終了した後も、薄片作成や調査結果の整理を行って、担当区画の地質図と調査報告書を作成する。 調査結果の提出、各人とも以下の内容を提出すること。 担当した地域の地質図・断面図・岩相分布図・柱状図・ルートマップ・調査報告書 岩石薄片の鏡下観察結果 上記の提出物は、各人ごとに封筒・ファイルにまとめて提出することが望ましい。 提出期限：10月中旬（講義等の日程等を考えて決める） 発表会：10月下旬～11月上旬 授業アンケート：1月						
(7)成績評価の方法	事前学習会での発表、実習中の態度、実習中の発表、調査後に提出された報告書・図表の内容を別途公開する「評価方法」に従って評価する。達成度が9割以上をS, 8割程度をA, 7割程度をB, 6割程度をC, 6割以下をDとする。						
(8)成績評価の基準	実習ガイダンス時に別途提示する。						
(9)事前事後学習の内容	実習ガイダンス時に別途提示する。						
(10)履修上の注意	日程や評価方法についてはガイダンスやwebページで公開する。 実習中の交通安全には注意すること。 ヘルメット：ヘルメットは事故を防ぐ意味で必要。腕章は調査地域内の住民に対する説明上必要。 あいさつと説明：地質調査では他者の所有地に入り込まなくてはならない事も多い。民家の裏や畑の脇の露頭を観察する際や、公道上で調査をせざるを得ないときは出来る限り付近の住民に(場合によっては通行人にも)挨拶や声をかけて、調査の目的を説明し、理解を求める必要がある。露頭の破壊は最小限にする。 道路脇の露頭の調査：車両の通行に注意し、その妨げにならないようにする。車両通過時には岩石を叩かないこと。また、調査による露頭の破壊は最低限にし、路上に岩石破片が散乱しないよう、後片づけを心がける。 沢・谷部での調査：露頭や斜面からの転落や転倒に注意する。堰堤(砂防ダム)が多いため、その通過には細心の注意を要する。また、雷雨などによって落石・崩落・急激な増水が起こり得ることも忘れずに。 原則として野外調査の全日程への参加が必要である。 学生教育研究災害傷害保険に加えて、旅行保険などの傷害保険に必ず加入すること。 履修には地質調査法実習1を修得済みであることが必要である。 実習地は未定であるが、昨年度は長野県南部の阿南町にて行った。実習地の詳細や日程、費用についてはガイダンス時に提示する。						

(11)質問,相談への対応	可能な時間にはいつでも応じる．
【教科書】	なし
【参考書】	別途紹介する．文献などはガイダンスで紹介する．